

啓明学園中学校高等学校

夏期特別学習



夏期特別学習「北泉寮と三井家」

北泉寮の歴史

北泉寮は、もともとは明治25年（1892年）ごろに、佐賀藩の元藩主だった鍋島直大という人の住まいとして作られました。しかし、大正12年（1923年）におきた関東大震災で、洋館の部分はくずれてしまいました。でも、和館はほとんどこわれませんでした。そのため、三井財閥の当主だった三井八郎右衛門が、この和館を鍋島家から買い取りました。建物のつくりは、江戸時代の大名屋敷の伝統を受けついでいて、とても格式高くなっています。たとえば、広い玄関や和風の客間、書院づくりの座敷などがあります。また、1階の一部には洋風のデザインも取り入れられていて、日本と西洋がまざった「和洋折衷」のすぐれた建物になっています。

戦争中には、北泉寮は生徒の疎開先として使われ、戦後は教室や寮としても活用されました。今では、北泉寮は東京都の有形文化財に指定されており、歴史的にとっても大切な建物として大切に保存されています。

特別講義

公益財団法人三井文庫

経歴・業績

2024. 7/28(月)

下向井 紀彦 主任研究員



演題:「三井家と北泉寮のつながり」(仮)

7/24(木)・7/25(金) ※7/30日は講座の実施は無し

講義:「北泉寮」の解体新書 ―日本建築の系譜と「北泉寮」―

特別解説

世田谷区教育委員会学芸員
法政大学江戸東京研究センター客員研究員

2024. 7/30(水)

金谷 匡高 学芸員

北泉寮 室内見学ツアー

少人数(10名以下)のグループで実施。1グループにつき12分～13分の室内見学を実施します。北泉寮についての研究をされている学芸員の方に解説をいただき室内を見学します。